

爆乳女教師口止めパイズリ

～先生の秘密内緒にしてくれたら挟んであげる～



とある学校での出来事



男子生徒達「白井先生さようならっ♡」

恵子「はい♡さようならっ♡♡気をつけて帰るのよお?」

男子生徒達「はっいつ♡」

不良生徒「恵子ちゃん♡今日も美人だねっ♡

俺と付き合おうよっ♡」

恵子「コッラ♡オバサンをからかわないのっ♡」

不良生徒「えっ?本気だっっ♡年の差なんて愛があれば関係ないよっ♡」



男子生徒A「相変わらず白井先生すごい人気だよな〜♥」

男子生徒C「不良共も白井先生の言う事だけは聞くもんな〜」

男の扱い方を知り尽くしてるというか…流石大人の女だよな〜♥」

男子生徒B「そりゃそうだろ！むさ苦しい男子校で唯一の紅一点っ♥

しかもあの美貌と爆乳だぞっ!!

思春期の俺達には刺激が強すぎるぜツ♥

ぶっちゃけお前らも恵子ちゃんをオカズにしたことあるだろっ!!俺はあるっ♥」

男子生徒A「ま、まあ…ぶっちゃけ毎日…先生で抜いてるわ…♥」

男子生徒C「お、俺も…っ♥特にあのデカ乳でパイズリされてる妄想で…ハアハア♥」



男子生徒B「だろ〜っ!? ああ〜くそっ♡

あの爆乳鷲掴みにしてパイズリさせてえええっ♡
一回くらい頼んだらヤラしてくれね〜かな〜っ!!」

男子生徒C「ば〜か無理無理! 俺達みたいなガキ相手にされね〜よっw

まあ同世代だったとしても

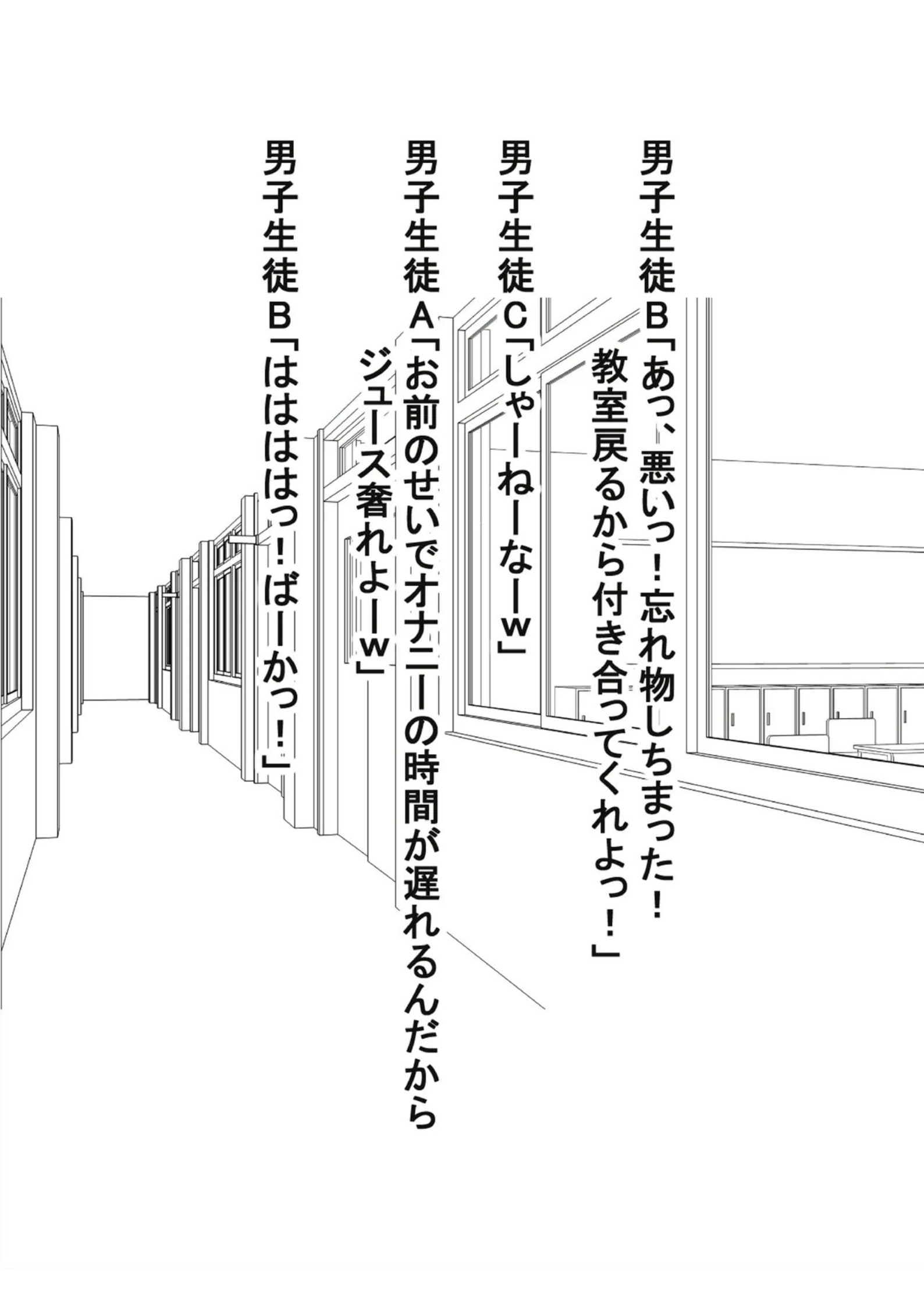
俺達スクールカースト底辺男子には縁のない女性だろうけどな……」

男子生徒A「だよな……まあ大人しく家に帰って

白井先生をオカズに一発抜こうぜ……

それくらいなら神様も許してくれるだろ……」





男子生徒B「あつ、悪いっ！忘れ物しちゃった！

教室戻るから付き合ってくれよっ！」

男子生徒C「じゃーなーw」

男子生徒A「お前のせいでオナニーの時間が遅れるんだから
ジューズ奢れよw」

男子生徒B「はははははっ！ばーかつ！」



恵子「クソがあつ!!」

恵子「つたく…っ!!クソガキどもがよっ!!」

毎日毎日エロい目で胸見てきやがってバシてねえとでも思ってたんのかっ!!
あんな猿共にタダでオカズ提供してやってると思うとムカつくわーっ!!」

恵子「それになにっ!!あのヤンキーもどきのウゼー餓鬼っ!!」

俺と付き合えだあり鏡見てももの言えやっ!!

釣り合おうと思ってるんのかっ!!小便臭い小僧がっ!!

ミスキャンパス・グランプリのこのアタシとっ!!」



恵子「他のセンコーどもはやたら飲み誘ってくるし
下心見え見えだつっ！の。クソオヤジどもがよーっ！！
あーっ！マジで全員死んでくれねー！……ん？」

男子生徒A「……………あ」

男子生徒B「あ、あの……俺らはですね……」

男子生徒C「ち、ちち、ちよつと忘れ物を取りに……」

恵子「……………」

惠子「あら♡忘れ物？気をつけないとダメよ♡」

ニ「」♡



恵子「なんて今更よね？」

今日だけ特別にパイズリしてあげるから
いま見たことは忘れなさい♡いいわね？」

男子生徒ABC「せつ、先生っ!?!」

パイズリパイズリ

男子生徒A「い、いやっ♡ぼっ、僕たちは別に誰にも言う気は……っ♡」

男子生徒B「ばっ、バカっ!!お、お前こんなチャンスふいにする気かっ!!」

恵子「ごめんなさいね♡先生、口だけの約束って信じられないの♡
このオツパイでオチンポ挟んでズリズリしてあげたら♡
秘密守ってくれるわよね?」

男子生徒C「はっはいつ♡勿論ですっ♡絶対守りますっ♡」

男子生徒B「おっ、俺も誰にも言いませんっ♡」

恵子「んふ♡A君も♡口止め料にパイズリ……させてくれるわよね?」

ぶっはっ

男子生徒A「これは夢かっ!? 夢なのかっ!?

つい数分前まで家帰って先生をオカズにオナニーしようって三人で話してたのに
いま目の前で先生が生おっぱい出してて、しかもパイズリしてくれるってっ!?!
なんだよこれっ!?! こんなことってあるのかよっ!?!

男子生徒B「おいっ! 落ち着けよッ! 現実だよっ!?! これは現実っ!?!」

恵子「しょうがないわね〜♥

じゃあまずはA君からね♥

嫌でも現実を受け入れてもらおうわよ♥」

男子生徒BC「えええええっ!?! そんなあああっ!?!」

ぶはっ
ぶはっ



恵子「ちゃんと三人とも気持ち良くしてあげることから
安心しなさい♡ポーヤ達♡」

男子生徒BC「はっ、はいっ♡」

恵子「あーあ、最低だわ……」

このアタシがこんな鼻たれのクツガキどものチンポコ抜いてやらなきや
ならないなんて……っつてもボコるわけにもいかねーしな……
親とか出てきたら面倒くせーし……あー……たりーな……(´Д`)

恵子「はーい♡いらっしやう♡」

男子生徒A「あっ♡ああっ♡」

男子生徒B「うわっ♡マジでチンコ挟んだぞっ♡」

男子生徒C「すっ、すっ…っ♡チンコ全部隠れてんじやん…っ♡
おっぱいデカすぎ…っ♡」

男子生徒A「あ…っ♡が…っ♡」

センセ…っ♡もう出ちゃ…っ♡」

恵子「ちよっと♡まだ挟んだだけよ？

本番はこれからなんだからもうちよっと我慢しなさい♡」

ぎゅっ

恵子「ほらっ♡ほらっ♡」

男子生徒A「あひゃっ♡ふひよおっ♡」

恵子「どお？気持ち良いかしら？」

男子生徒A「ぎもぢいっ♡いっくらっ♡」

男子生徒B「ハアハア♡すっ♡すっ♡
見るよっ♡デカ乳が上下にバルンバルンてっ♡」

男子生徒C「凄いド迫力…っ♡ふっ♡ふっ♡
こんな乳で扱われたらっ♡どうなっちまうんだっ♡」



男子生徒「イグツ♥イグツ♥あひゃんっ♥」

恵子「あら？もう出ちやったの？勿体ないわねえ…

こんなチャンスもう滅多にないのよ？
もっと楽しまなきゃあ♥」

男子生徒A「無理いつ♥ぎもぢ良すぎて我慢ムリいつ♥」

恵子(子供は早漏で楽だわあ

後の二人も簡単に籠絡できそうね♥)

男子生徒C「おっぱいの中に出しやがったっ♥

くそおっ♥めっちゃ気持ち良さそうっ♥」

男子生徒B「おいつ♥出したなら早く代われよツ♥ふーっ♥ふーっ♥

もうチンポはち切れそうだった♥爆発しちまうっ♥」

おっ♥

おっ♥

おっ♥

おっ♥

男子生徒 B「先生早くっ!!ハアハア♥

早く挟んでよッ♥ハアハア♥」

恵子「はいはい♥慌てないの♥

おっぱいは逃げないわよ♥」

男子生徒 B「はうあっ♥」

ましゃっ



男子生徒B「が…っ♡あ…っ♡肉にチンポ埋も…れて…っ♡や…っば…っ♡」

恵子「ほくら♡A君がパイズリされてる最中も
脳内で自分に置きかえて興奮してたんでしょ？
自分の番まで待ちきれなくて暴発寸前だったのよね？」

男子生徒B「はひいつ♡あうっ♡」

先生ツ♡焦らさないでっ♡
早くッ♡早く扱いてよっ♡
上下にズリズリしろよっ♡」

恵子「若い子は堪え性がないわね♡
そんながつついちゃ女の子にモテないわよ？」



恵子「はい♡お待ちかね♡」

男子生徒B「ひぐうっ♡はひゃあっ♡」

男子生徒C「うわっ…♡エグ…っ♡」

男子生徒B「やびやあいつ♡あびいつ♡」

恵子「百センチ超えの肉厚爆乳お肉でおちんぽズリズリ♡
学生の身でこんな贅沢な体験できないわよ？普通♡
しっかり味わいなさい♡」

おちんぽ♡
おちんぽ♡
おちんぽ♡



おぢゅ♡おぢゅ♡

男子生徒B「あがあっ♡おぐっ♡」

恵子「ちよっ♡♡」

だから早いわよあんた達♡」

おぢゅ♡おぢゅ♡

男子生徒C「は、はは……っ♡おまえら情けねーなあ……っ♡
ど、どうせ元々早漏なんだから……？だせえ……っ♡」

男子生徒A「無、無理だつて……っ♡ハアハア♡」

思春期の童貞にこんな耐えられるわけねえっ♡
お前もすぐにわかるよ……っ♡ハアハア♡」

おぢゅ♡おぢゅ♡おぢゅ♡おぢゅ♡

男子生徒B「す、すげえ……っ！作業的に簡単に射精させていく……っ！
これが経験豊富な大人の女なのか……っ!」

男子生徒A「ほらみろっ！秒殺じゃねーかつ!!」
恵子「さ、次いくわよ。横になりなさい。」



男子生徒A「先生ツッピースしてっ♡ピースッ♡」

恵子「え〜?」これでいいの?」

男子生徒A「おほおっ♡」

男子生徒B「えっ、エロオツ♡」

男子生徒C「え、AVみたいだった♡ハァハァ♡」

オツ♡

オツ♡

オツ♡

オツ♡



恵子「こらこら♥先生をセクシー女優扱いするなんてどういづつもりよ♥」

男子生徒A「買ううつつ♥先生が出てるAVなら絶対買ううつつ♥」

恵子「白井恵子32歳独身♥教師やってまゝす♥

バスト120cm♥特技はパイズリでゝす♥

今日も生徒をつまみ食いして

チンポ扱いてまゝす♥」

男子生徒B「AV女優の自己紹介シーンかよっ♥

たっ、たまんねえッ♥マジでAV撮影みただっ♥」

男子生徒C「こんなん見せられたら

射精したばっかなのに勃起止まんねーよクソオっ♥ふーっ♥ふーっ♥」



男子生徒A「出るっ♡また出るううっ♡」

恵子「んふ♡若いと二発目も濃いわね♡」

男子生徒B「先生ッ♡先生ッ♡俺っ♡次また俺っ♡」

恵子「はいはい♡慌てない慌てない♡お猿さん♡」



恵子「誰がオバサンだゴラアアツ!!」

ぶち殺されてえのかあつ!!」

ドドドドドドドド

男子生徒B「すみませんでしたあああつ!!」

男子生徒B「先生ツ♥先生ツ♥」

恵子「ほらっ♥しっかりズリなさいツ♥」

C君が気持ち良くなならないでしょう♥」

恵子「学校は協調性を養う場でもあるのよ♥」

力を合わせて何かを成し遂げる事を覚えなさい♥」

男子生徒B「ひやいいいいいい♥」

おどろっ♥

おどろっ♥

はぁっ♥
はぁっ♥
はぁっ♥

はぁっ♥
はぁっ♥
はぁっ♥

はぁっ♥
はぁっ♥
はぁっ♥

あひゃっ♥

あひゃっ♥

男子生徒C「あひやつ♡おひやつ♡」

お、男の腕力で力任せに乱暴に扱ってるだけなのに
これはこれでぎもぢいい♡♡♡

かぶ♡

はちゅ♡
はちゅ♡
はちゅ♡

はちゅ♡
はちゅ♡
はちゅ♡

はちゅ♡
はちゅ♡

はちゅ♡
はちゅ♡

あひやつ♡

あひやつ♡

男子生徒C「テクニクも糞もないけど

雑な感じがこれはこれでぎもぢいい♡♡♡」

男子生徒C「共同作業でイググウウウウウウ」♥」

恵子「はい♥よくできました♥」



恵子「な〜にぶっ倒れてるのぉ？」

「この子が終わったらまた貴方の番だからね♥」

男子生徒B「も、もう勘弁して…：くだしいい…：♥」

恵子「若いのに情けないわねえ♥まだ10回射精しただけよ？

先生はまだまだパイズリできるわよお♥

「こんなオバサンに体力で負けて悔しくないのかしら？」

もうムリ♡♡♡

♡♡♡

あひっ♡

♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡

♡♡♡
♡♡♡
♡♡♡

＃＃＃♡
＃＃＃♡
＃＃＃♡
＃＃＃♡

＃＃＃♡
＃＃＃♡
＃＃＃♡
＃＃＃♡
＃＃＃♡
＃＃＃♡
＃＃＃♡
＃＃＃♡

男子生徒C「先生……ホントにもう許してくらはい……♡」
男子生徒B「調子に乗ってすみませんでしたあ……♡
もう精子出ませんん……♡動けませんん……♡」
恵子「だるめ♡許さない♡」



恵子「ほらっ♡しっかり腰振りなさい♡
男の子でしょっ?!内申点下がるわよ?!」

男子生徒A「ひいっそんなああっ♡」

男子生徒B「先生の秘密は絶対誰にも言いません♡かきやああっ♡」

男子生徒C「死にゅっ♡死にゅゅゅっ♡」



恵子「あら♥まだいっぱい出るじゃない……♥
まだオバサンの相手してくれるわよね？」

男子生徒ABC「ふええええええええええ♥」

Whi♥
Whi♥





男子教師「ん？なんだ？放課後だといふのに
騒がしい声が……」





はぁっ♡

男性教師「あぁっ♡ぎもぢい♡ぎもぢい♡
実は僕、白井先生にずっと憧れていたんです♡
その白井先生にこんなことしてもらえるなんて夢みたいだっ♡」

恵子「ああそう…よかったわね…」

はぁっ♡

はぁっ♡

おちゅ♡
おちゅ♡
おちゅ♡

おちゅ♡
おちゅ♡

おちゅ♡
おちゅ♡
おちゅ♡

男性教師「知ってましたかっ!?

教頭や校長含めた男性教員は皆
毎日、白井先生の爆乳に釘付けなんですよっ♡」

惠子「知ってるわよ…みんなしてイヤらしい目で

はま、おっぱいガン見してるものね…」

男性教師「あゝ♡優越感が凄いですっ♡

こんなこと他の先生たちが知ったら泣いて悔しがらるだろうなっ♡」

惠子「ちよっと…今日の事は誰にも言わないって約束で

こんなことしてあげてるのを忘れてないでしょーね?」

男性教師「わかってますよっ♡おふっ♡気持ち良いっ♡」

はまっ♡

おっぱい♡
おっぱい♡
おっぱい♡
おっぱい♡
おっぱい♡
おっぱい♡
おっぱい♡
おっぱい♡
おっぱい♡
おっぱい♡



男性教師「あっ♡あっ♡イグッ♡イグッ♡
白井先生っ♡出ますっ♡」

恵子「…お好きにどうぞ」

男性教師「ああっ♡憧れの恵子さんの胸に中出しいっ♡」

恵子「…気安く同僚を名前で呼ばないでくれますか？」



恵子「それでは私もう行きますので…

今日の事は大人同士の秘密ってことでもよろしくお願いしますね♥」



男子教師「あっ、あのっ！けい…白井先生っ!!!」

恵子「はい?」

結婚を前提に僕と結婚してください……っ

ぜいぐはあっ!!

ドゴッ!!

調子に乗ってんじゃないっ!!

恵子